

農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業

Science and technology research promotion program for agriculture, forestry, fisheries and food industry

研究紹介 2015

はじめに

農林水産省では、①食料自給率の向上及び食の安全・消費者の信頼確保、②温室効果ガス削減やバイオマスの利活用等地球温暖化への対応、③農林水産業と関連産業との融合、連携等による6次産業化の推進、④地域資源の活用及び林業・木材産業の持続的発展、⑤遺伝資源・環境資源の収集・保存・情報化と活用を目指した研究開発を重点目標として推進しており、その一環として平成20年度から平成24年度までは「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」を実施してきました。さらに平成25年度からは革新的な技術開発を基礎から実用化まで継ぎ目無く（シームレスに）支援し、ブレークスルーとなる技術を効果的・効率的に開発することを目的に、新たに「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」を実施しています。

本事業は、産学官の優れた研究精力を結集し、農林水産・食品産業の生産及びこれに関する流通、加工等の現場の技術的課題を解決し、農林水産・食品産業の成長産業化に貢献するとともに、地域の活性化につながることを目的として実施しています。

また今年度は、イノベーション創出基礎的研究推進事業から移管された課題を含め80課題の研究が終了しており、その中でも、

- ・ 飼料用・加工用米への活用が期待できるバイオマス収量を増加させるイネ育種法の開発
- ・ 重要な野菜の一つであるタマネギの端境期に出荷を可能とする栽培体系の確立
- ・ 未利用豚ふんから低コストで炭化・減容化させ、またリン資源として回収する技術の開発
- ・ 米を直接ゲル化し、米のみで麺からクリーム状素材まで多様かつ低カロリー・小麦アレルギー対応が可能な低コスト食品素材の開発

など、優良な研究成果が創出されています。他にも多数の成果が創出されており、それらの研究成果を紹介します。

本書が農林水産業の生産現場等で直面している問題の解決や地域産業の振興等の様々な分野で活用されることを期待しております。

平成27年5月

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究推進課 産学連携室長